令和５年７月１２日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－４

令和４年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【日吉町
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	５事業
事業費総額 （決算時）	２，０７４，３５５円
交付金決定額 （うち加算額）	９３１，０００円 （２９６，０００円）
交付金決算額	１，０８７，８６７円
交付金返還額	１３９，１３３円

●添付資料

・実績報告書　Ｐ１　～Ｐ１６
・事後評価調書　Ｐ１７～Ｐ２１
・参考写真
（令和４年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ２２～Ｐ２８

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和５年４月　７日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市日吉町４０９３番地の２
名称：日吉町まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　大竹　和夫　　㊞

夢づくり地域交付金実績報告書

令和４年４月２７日付瑞浪市指令第５４号の６で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
１．特産品開発事業
２．日吉町活性化事業
３．まちづくり情報発信事業
４．青少年育成支援事業
５．中学生と語る会開催事業
（　　）基金積立事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）
６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

特産品開発事業

２　活動報告（活動内容等）

平成２１年度より特産品開発として取り組んでいる椎茸の原木栽培は１４年目を迎え，毎年着実に成果が表れ日吉町の特産品として定着しました。
安定した出荷ができるよう、今年度は、６５０本のほだ木を確保しました。
昨年度に続き、きなぁた瑞浪への出荷だけではなく、日吉公民館開催の「軽トラ市」、中山道往来への参加、ふるさと納税の返礼品として町内外へ日吉町の特産品としてＰＲすることができました。購入した方に満足していただけるよう、品質のよい商品の出荷に努めました。
農産物加工所「天狗の台所」においては、開所１１年が経過し、徐々に利用者が増えてきました。ほうれん草パウダーも試験的ですが、販売することもできました。今後より多くの方に利用していただくため、乾燥野菜や果物、そして乾燥野菜を粉砕機で粉末化したサンプルをつくるなど研究・開発を行っていきます。
今後も引き続き６次産業化を目指し原木栽培による椎茸生産、乾燥加工した農産物など広く地域に呼びかけて普及に努めていきます。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

原木の確保（購入及び菌打ち）650本（650本）　　（　　）目標数
まちづくりほだ木所有数＝5,785本
椎茸（生）収穫実績＝278kg（350kg）　椎茸加工（乾燥）＝28kg（30kg）
ふるさと納税返礼品＝2件　農産物加工所利用料＝27件　53,000円
きなぁた売上＝275,600円　その他売上＝251,010円

４　事業に要した経費（総事業費）

935,189　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

165,000　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	椎茸収穫開始（春分）		
	天狗の台所一般利用（通年）	備品費	980
	乾燥しいたけ販売（通年）	消耗品費	48,032
		手数料等	42,471
	きなぁた瑞浪への出荷	消耗品費	400
	ふるさと納税返礼品（通年）	通信費等	2,510
	しいたけ乾燥（通年）	光熱水費	167,355
５月	椎茸ほだ木管理(通年)	委託料	100,000
	椎茸ほだ場使用料（通年）	使用料等	20,000
	椎茸加工委託料	委託料	50,000
６月	椎茸ほだ木本伏せ	食料費	2,583
		原材料費	102,952
７月	天狗の台所　特産品開発	消耗品費	1,595
８月			
９月			
１０月			
１１月	椎茸収穫開始（秋分）		
	加工委託料	委託料	10,000
１２月			
1月			
２月	加工所暖房費	光熱水費	2,120
３月	原木購入	消耗品費	284,300
		手数料等	770
	椎茸菌打ち	消耗品費	72,050
		食料費	27,071
合計			935,189

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	165,000	165,000	
自主財源	160,000	243,579	
その他（しいたけ売上）	500,000	526,610	
合　　計	825,000	935,189	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
原木購入経費	原木、菌購入	消耗品費	280,000	284,300	
		手数料等	0	770	
		小計	280,000	285,070	
植菌作業経費	植菌作業 菌の購入	消耗品費	90,000	72,050	
		食料費	30,000	27,071	
		小計	120,000	99,121	
管理経費	ほだ木の管理	委託料	120,000	100,000	
		使用料等	0	20,000	
	加工所経費	委託料	50,000	60,000	
		手数料等	0	0	
		光熱水費	0	2,120	
		小計	170,000	182,120	
本伏せ経費	本伏せ経費	消耗品費	120,000	102,952	
		食料費	5,000	2,583	
		小計	125,000	105,535	
販売経費	きなぁた瑞浪手数料	手数料等	55,000	42,471	
	きなぁた瑞浪ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ	消耗品費	5,000	400	
	販売用	消耗品費	50,000	48,032	
		備品費	0	980	
	ふるさと納税 返礼品送料	通信費等	10,000	2,510	
	しいたけ乾燥	光熱水費	0	167,355	
		小計	120,000	261,748	
特産品開発経費	特産品試作・ 開発費	消耗品費	10,000	1,595	
		小計	10,000	1,595	
合　　計			825,000	935,189	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

日吉町活性化事業

２　活動報告（活動内容等）

今年もコロナの影響で直前に日吉町夏祭りが中止となってしまいましたが、コロナ禍でもできる事業を着実に進めてきました。

農園（にじいろファーム）は、日吉幼児園・JAとうと日吉支店との合同事業でもあるさつまいもの植付け、収穫体験など幅広い年齢層の町民等が参加するふれあいの場となりました。

焼成事業では、コロナ禍ということもあり、作陶教室を毎週開催することができませんでしたが、日吉公民館や大漁公民館、町内外の陶芸家の協力もあり、多くの作品を焼成することができました。焼成期間に合わせ、「中学生と語る会」を開催し薪くべの体験や天狗塚散策の案内とまちづくり全体で協力しました。

周辺に中山道（琵琶峠）、マレットゴルフ場などの観光拠点がある天狗塚では、今年度は『なごやの水源・木曽三川流域連携事業寄付金』によって寄贈されたベンチ３基の設置、登山道の草刈りなどの整備を実施しました。また、小学生５年生対象の出前講座や里山体験学習を行い、自然観察・森林管理の体験を通じ、青少年の育成に努めました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

中山道周辺整備	参加人数＝40人（60人）	（　　）目標数
天神窯周辺整備	参加人数＝40人（100人）	
農園事業	参加人数＝230人（250人）	
焼成事業	参加人数＝200人（350人）	
里山体験学習	参加人数＝48人　小学5年生ほか	

４　事業に要した経費（総事業費）

495,000　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

296,000　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	天狗塚登山道環境整備	消耗品費	10,448
５月	さつまいも苗植え、管理（通年）	消耗品費	8,596
		食料費	1,296
		備品費	22,000
	モニュメント補修	消耗品費	131,738
６月	中山道周辺整備（草刈等）		
７月	夏祭り（中止）	消耗品費	7,303
		手数料等	110
８月	天神窯焼成作陶（～１０月まで）	原材料費	44,308
		通信費等	1,380
		印刷費	2,052
		光熱水費	84,700
		手数料等	770
		消耗品費	30,000
９月			
１０月	中山道環境整備（草刈）	通信費等	3,150
		備品費	6,160
		光熱水費	3,300
		食料費	907
１１月	中山道往来	食料費	6,797
		備品費	22,340
	天狗塚登山道環境整備	消耗品費	27,000
		食料費	18,280
	里山体験学習	使用料等	26,400
	農園収穫祭	光熱水費	5,400
		消耗品費	8,205
	天神窯焼成（～１２月）	光熱水費	4,360
		使用料等	18,000
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			495,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	296,000	296,000	
自主財源	609,000	76,060	
その他（　　イベント売上・利用料　　）	0	122,940	
合　　計	905,000	495,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
天神窯活性化経費	天神窯焼成	原材料費	400,000	52,513	
		消耗品費	0	30,000	
		光熱水費	0	89,060	
		使用料等	0	18,000	
		手数料等	0	770	
		印刷費	0	2,052	
	天神窯周辺整備	原材料費	40,000	0	
	モニュメント補修	消耗品費	130,000	131,738	
		小計	570,000	324,133	
中山道整備事業経費	天狗塚登山道・中山道環境整備	消耗品費	70,000	31,870	
		備品費	0	34,078	
		食料費	0	19,187	
		通信費等	0	4,530	
		光熱水費	0	3,300	
	里山体験学習	使用料等	60,000	26,400	
		小計	130,000	119,365	
夏まつり事業経費	日吉町夏祭り	消耗品費	100,000	7,303	
		手数料等	0	110	
	うちわ購入	消耗品費	40,000	0	
		小計	140,000	7,413	
農園事業経費	さつまいも畑	光熱水費	30,000	5,400	
		備品費	0	22,000	
		消耗品費	10,000	8,596	
		食料費	0	1,296	
		小計	40,000	37,292	
	ＰＲ活動費	旅費	5,000	0	
	輿及び衣装の管理	消耗品費	20,000	0	
	中山道往来・天神窯まつり参加	消耗品費	0	6,797	
		小計	25,000	6,797	
合　　計			905,000	495,000	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

まちづくり情報発信事業

２　活動報告（活動内容等）

コロナ禍で、イベントが中止になってしまったため、発信する情報が減ってしまいましたが、まちづくり便りを５号と日吉公民館だより内にまちづくりコーナーを２回発行、全戸配布しました。地域に密着した情報やテーマをより多く掲載し身近な情報誌として発行できました。
「まちづくりホームページ」を見やすく活用しやすいホームページをこころがけました。またインスタグラムでも最新情報を発信し、町内外の方が様々なツールで日吉町の情報を入手できるようにしました。
また、町内３箇所に設置してあるお知らせ看板を活用し町内の行事を広くＰＲすることができました。
空き家対策委員会を設立し、空き家バンクへの登録を目指すため区長会と連携し空き家の情報提供の呼びかけをしました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

情報誌「まちづくり便り」：5回発行
公民館だより内「まちづくりコーナー」：2回
まちづくりホームページ：年間アクセス数　46,905人
インスタグラム　　：フォロワー数　　289人
お知らせ看板：町内行事のＰＲを行いました

４　事業に要した経費（総事業費）

261,574　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

260,000　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	公民館だよりまちづくりコーナー（カラー）	印刷費	15,660
５月	公民館だよりまちづくりコーナー（カラー） 空き家対策　会議	印刷費 食料費	15,660 814
６月	まちづくり便り　９０号（白黒）	印刷費	15,660
７月	まちづくり便り　９１号発行（カラー）	印刷費	31,320
８月			
９月	広報活動 空き家対策	消耗品費 食料費	24,750 500
１０月			
１１月	まちづくり便り　９２号発行（カラー）	印刷費 消耗品費	31,320 2,970
１２月			
１月	まちづくり便り　９３号発行（カラー）	印刷費	31,320
２月			
３月	まちづくり便り　９４号発行（カラー） ホームページ更新 空き家対策	印刷費 消耗品費 使用料等 手数料等 消耗品費	31,320 2,970 55,660 770 880
合計			261,574

８　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	260,000	260,000	
自主財源	758,000	1,574	
その他（　　）			
合　　計	1,018,000	261,574	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
まちづくり 便り印刷経費	日吉町まちづくり 便り等の発行	印刷費	190,000	172,260	
		消耗品費	20,000	5,940	
		備品費	40,000	0	
		小計	250,000	178,200	
ホームページ 維持・管理経費	ホームページ 維持費 PR用デザイン	使用料等	58,000	55,660	
		手数料等	0	770	
		報償費	20,000	0	
		消耗品費	0	24,750	
		小計	78,000	81,180	
案内看板	案内看板修繕	工事費	660,000	0	
		手数料等	0		
		小計	660,000	0	
空き家対策	空き家情報	消耗品費	30,000	880	
		食料費	0	1,314	
		小計	30,000	2,194	
合　　計			1,018,000	261,574	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

青少年育成支援事業

２　活動報告（活動内容等）

将来のまちづくりの担い手である青少年に対し教育部会、青少年部会、民生部会の３部会が支援活動を実施しました。 ○教育部会 青少年育成町民会議として５１名が「中山道往来」に参加し、体験を通してふるさとについて学びました。 ○青少年部会 花いっぱい運動を行い、春と秋にパンジー・ビオラ・千日紅を町内団体及び希望者に配布しました。また、町内文化財の保護及び保全活動として弁財天の池の外来種駆除及び草刈りを実施しました。１２月には町内一斉缶拾いを行い町内の美化に努めました。 ○民生部会 今年度から始まった日吉小コミュニティ・スクールの取り組みで、地域の安全・安心を守るため「下校時のバス待ち児童の見守り」を青色回転灯防犯パトロールと併せて実施しました。「日吉小子どもサミット」を開催し、６年生のみなさんからの意見で、のぼり旗とポスターをつくり挨拶の大切さを知ってもらおうと、子どもたちから募集した標語１４作品ののぼり旗とポスターをつくりました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

青色回転灯防犯 各種行事参加者	パトロール参加者＝74人（100人） 中山道往来＝51人 花壇づくりによる環境美化＝450人 町内一斉空き缶拾い＝600人	（　　）目標数

４　事業に要した経費（総事業費）

225,725　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

210,000　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	防犯パトロール(青パト）の実施（通年）	通信費等	2,520
５月			
６月	古文書教室開催（～3月） 花壇づくりによる環境美化(花苗代)	印刷費 消耗品費	7,145 60,500
７月			
８月			
９月			
１０月			
１１月	中山道往来への参加 花壇づくりによる環境美化(花苗代)	原材料費 消耗品費 食料費 消耗品費	6,131 448 5151 60,500
１２月	町民あいさつ運動のぼり旗設置 町内一斉空缶拾い	消耗品費 手数料等	58,335 770
１月			
２月			
３月	あいさつポスター	印刷費	24,225
合計			225,725

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	210,000	210,000	
自主財源	115,000	15,725	
その他（　　）			
合　　計	325,000	225,725	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
教育部会 事業経費	中山道往来への参加	印刷費	15,000	0	
		消耗品費	20,000	448	
		原材料費	0	6,131	
		食料費	15,000	5,151	
	町民あいさつ運動のぼり旗購入	消耗品費	90,000	58,335	
		手数料等	0	770	
	あいさつポスター	印刷費	0	24,225	
		小計	140,000	95,060	
青少年部会 事業経費	木かげ教室の開催	消耗品費	20,000	0	
	花壇苗配布	消耗品費	200,000	121,000	
	町民ｽｷｰ教室開催	使用料等	35,000	0	
	町民一斉空缶拾い	消耗品費	10,000	0	
	公民館で遊ぼう、百人一首大会等の開催	消耗品費	20,000	0	
		小計	285,000	121,000	
民生部会 事業経費	青パト実施及び講習会	消耗品費	5,000	0	
		通信費等	5,000	2,520	
		小計	10,000	2,520	
	古文書教室	印刷費	0	7,145	
		小計		7,145	
合　　計			435,000	225,725	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

中学生と語る会開催事業

２　活動報告（活動内容等）

子どもたち大人たちが地域と関わる機会を増やし、地域について考えてもらうことを目的として、土岐、明世、釜戸、大湫地区の各まちづくり協議会の共同開催として計画しました。新型コロナウイルス感染予防を講じながら、２年に１度の焼成事業と併せて、作陶教室、焼成、ピザ焼き体験、姫街道の輿についての説明、天狗塚散策を行いました。また、小栗昭治さんを講師に迎え「わがまちの自然」について講義を聴いたのち、グループワークを行いました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

日吉町北野地区の天神窯にて開催。瑞浪北中学校の生徒２８名、各地区まちづくり４０名、計６８名が参加。講義、天狗塚散策、姫街道の輿について、焼成、ピザ焼き体験という貴重な体験を通して自然について学び、ワークショップでは、活発な意見を交わしていました。

４　事業に要した経費（総事業費）

156,867　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

156,867　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月	案内送付	消耗品費 通信費等	1,471 504
６月	第１回打合せ	食料費	814
７月	中学生作陶体験	原材料費 食料費	2,332 1,695
８月			
９月	進捗状況連絡	通信費等	504
１０月	第２回打合せ	通信費等 食料費	504 1,013
１１月	中学生と語る会開催	消耗品費 通信費等 保険料 食料費 賄材料費 使用料等 報償費 印刷費	29,048 504 7,446 5,443 18,111 50,798 20,000 16,680
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			156,867

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	296,000	156,867	
自主財源			
その他（　　）			
合　　計	296,000	156,867	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
中学生と語る会開催事業経費	会議の開催	食料費	12,000	1,827	
		消耗品費	6,000	1,471	
		通信費等	18,000	1,512	
		小計	36,000	4,810	
	作陶参加者	原材料費	20,000	2,332	
		食料費		1,695	
		小計	20,000	4,027	
	中学生と語る会開催	通信費等	0	504	
		印刷費	10,000	16,680	
		食料費	10,000	5,443	
		消耗品費	30,000	29,048	
		保険料	10,000	7,446	
		賄材料費	30,000	18,111	
		使用料等	120,000	50,798	
		光熱水費	30000	0	
		報償費	0	20,000	
		小計	240,000	148,030	
合　　計			296,000	156,867	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉 地区
事業番号　1
事業名　特産品開発 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	特産品として椎茸栽培を広く町民に普及する。 ほだ木の確保650本　椎茸収穫量350kg　加工商品化30kg　ふるさと納税返礼品　15件	3
		実績値	ほだ木の確保　650本(H21年～累計数5,785本 椎茸生産実績＝278kg(生)　椎茸加工実績＝28kg　加工所一般利用＝27件 きなあた売上＝275,600円　その他売上＝251,010円 ふるさと納税返礼品　2件	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解消	課題の内容	日吉町農産加工所の有効活用。しいたけ以外の粉末化した加工品の用途研究及び新たな特産品が必要である。	4
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				25
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		しいたけの原木栽培は14年目を迎え毎年着実に成果が表れているが、収穫量が例年に比べて少なかった。きなぁた瑞浪へ出荷、日吉公民館主催の「軽トラ市」への出店、贈答品として受注、ふるさと納税の返礼品として全国へ日吉町の特産品としてPRすることができた。購入者に満足していただけるよう、品質のよい出荷に努めた。年々ほだ木の確保が難しくなっているため、今後の生産安定化のためにも継続的にほだ木(原木)を確保する必要がある。 農産物加工所は開所11年が経過し、少ないながらも徐々に利用者が増えてきた。乾燥野菜や果物、そして乾燥野菜を粉砕機で粉末化したほうれん草パウダーを試験的に販売を行った。今後もより多くの方に利用していただけるよう研究・開発を行う。	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉 地区
事業番号　2
事業名　日吉町活性化 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	中山道周辺整備 参加者数 60名 天神窯周辺整備 参加者数 100名 日吉町夏祭り 参加数 800名 農園事業 参加者数 250名 里山体験学習 参加者数 50人	3
		実績値	中山道周辺整備 参加者数 40名 天神窯周辺整備 参加者数 40名 農園事業 参加者数 230名 日吉町夏まつり 中止 焼成事業 参加者数 200名 里山体験学習 48名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解消	課題の内容	天神窯周辺施設(マレットゴルフ場、天神窯東屋、天狗塚)を活用したエリアの活性化。弁財天の池の生態系の維持。	4
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				24
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		今年度もコロナの影響で毎年開催している、天神窯春まつりや日吉町夏祭りなどのイベントが中止となったが、コロナ禍でもできる事業を着実に進めた。 農園(にじいろファーム)でのさつまいもの植付けや収穫体験などは、幅広い年齢層の町民が参加しふれあいの場となった。 焼成では、コロナ禍で作陶教室を毎週開催することができませんでしたが、日吉公民館、大秋公民館、町内外の陶芸家の協力もあり、多くの作品を焼成することができた。焼成期間に合わせ、「中学生と語る会」を開催し薪くべ体験、天狗塚散策とまちづくり全体で協力した。 周辺に中山道(琵琶峠)、マレットゴルフ場などの観光拠点がある天狗塚では、今年度は『なごやの水源・木曽三川流域連携事業寄付金』によって寄贈されたベンチ3基の設置、登山道の草刈りなど整備を行った。また、小学5年生対象の出前講座・里山体験学習を通じ、自然観察、森林の管理の体験を学ぶ場となっている。	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	日吉 地区
事業番号	3
事業名	まちづくり情報発信 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	まちづくり便り 年6回発行(全カラー刷り)、ホームページの充実とメンテナンス、インスタグラムでの情報発信	4
		実績値	まちづくり便り 年5回発行、公民館だよりの一部に「まちづくりコーナー」2回 ホームページ 年間アクセス数 46,905人 (R3年 27,600人) インスタグラム フォロワー数 289人 (R3年 226人)	
		達成度	R	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解消	課題の内容	定期刊行物として定着した「日吉町まちづくり便り」の発行とホームページの充実。また、SNSの充実を図り、町内外に様々なツールで日吉町の情報を入手できるようにしました。	4
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				26
今後の事業展開の方向性		1 拡充 2 (継続) 3 終了 4 廃止		
意見・感想など		情報発信ツールとして定着したまちづくり便りは、地域と密着した情報やテーマを身近な情報誌として発行できた。 町内3箇所に設置してあるお知らせ看板を活用し町内の行事を広くPRすることができた。 ホームページやインスタグラムなどのSNSを活用できた。今後も積極的に町内外へ日吉町のPRを行う。 空き家対策委員会を設立し、空き家バンクへの登録を目指すため、区長会と連携し空き家の情報提供の呼びかけをした。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉 地区

事業番号　4

事業名　青少年育成支援 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	参加者総数　100名	4
		実績値	青パト　74名　　中山道往来　51名　町内一斉空缶拾い　600名 町民スキー教室　中止　木かげ教室　中止 花壇づくりによる環境美化　450名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	日吉町あいさつ運動を実施し、いつでもどこでも子どもも大人も気持ちの良い挨拶を交わす町を目指す	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				23

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	青色回転灯防犯パトロールでは、今年度から始まった日吉小コミュニティ・スクールの取り組みで、地域の安全と安心を守るため「下校時のバス待ち児童の見守り」と併せ、住民の方の協力を得て実施することができた。 また、コミュニティ・スクールでは「日吉小子どもサミット」を開催し、6年生のみなさんの意見で、あいさつの大切さを知ってもらおうとのぼり旗とポスターを作った。 日吉町を花で彩るため、幼児園、小学校をはじめ多くの町民に花の苗を提供することができた。 コロナの影響で中止となっていた中山道往来への青少年の参加が3年ぶりにできた。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉 地区
事業番号　5
事業名　「中学生と語る会」開催事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	瑞浪北中学校の生徒と地元住民あわせて50人の参加	4
		実績値	瑞浪北中学校の生徒　28名 各地区まちづくり40名　　計68名参加	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	子どもたちが地域と関わる機会を増やし、地域について考えてもらえる場を提供する	4
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				25

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	土岐・明世・釜戸・大湫の5地区の共同開催として計画し、2年に1度の焼成事業と併せ、事前に作陶教室を行い、日吉町北野地区の天神窯にて、講師小栗昭治さんを迎え、「わがまちの自然」について講義していただき、焼成・ピザ焼き体験、姫街道の輿の説明、天狗塚の散策など貴重な体験を通して自然について学び、ワークショップでは、活発な意見交換を交わすことができた。 令和5年度は、大湫地区主催で開催予定です。

夢づくり地域交付金事業の様子

（日吉地区）

※ 別添資料に代えさせていただきます。

特産品開発事業



しいたけ植菌作業
（令和５年３月１９日）



しいたけ収穫
（春・秋）



しいたけ圃場管理
（通年）



特産品開発（天狗の台所利用）
（通年）



乾燥しいたけ・ギフト販売、ふるさと納税返礼品（通年）



『中山道往来』『ひよし軽トラ市』等での販売
（令和４年１１月５日、４月～１２月 第２・４土曜日）

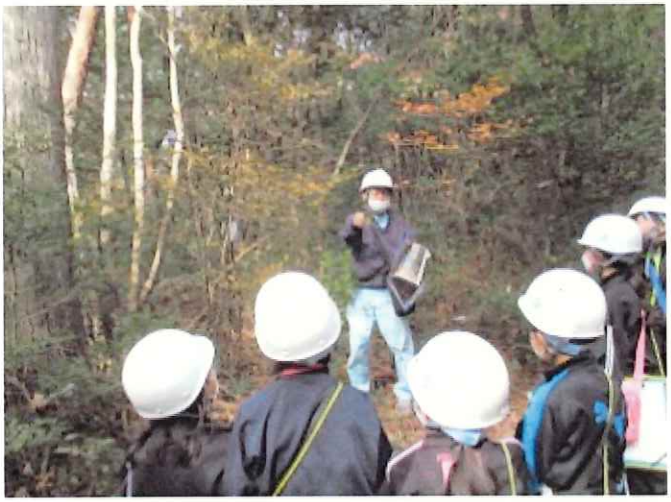
日吉町活性化事業



にじいろファーム ～植え付け準備～
（令和４年５月２２日）



にじいろファーム ～園児植え付け～
（令和４年６月１日、２日）





里山体験学習及び事前学習
（令和４年１１月２日@日吉小学校、１１月７日@天狗塚）



東海自然歩道草刈り
（令和４年６月２６日・１０月２２日）



天狗塚ベンチ設置
（令和４年４月９日）

日吉町活性化事業



天神窯焼成 ～作陶～
（令和４年７月～１０月、全１１回）



天神窯焼成 ～施釉～
（令和４年１１月２０日）



天神窯焼成 ～窯詰め～
（令和４年１１月２０日）



天神窯焼成 ～本焼成～
（令和４年１１月２５日～１１月２７日）



天神窯焼成 ～窯出し～
（令和４年１２月４日）



天神窯焼成 ～焼成作品～
（令和４年１２月４日）

まちづくり情報発信事業



まちづくり便り発行
（９０号～９４号、公民館便り内２回）



空き家対策委員会
（5月２４日）

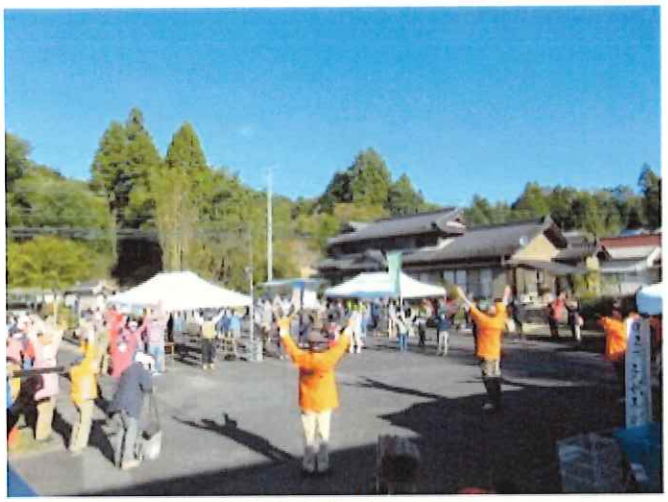


ホームページ更新
（通年）



インスタグラム更新
（通年）

青少年育成支援事業



中山道往来
（令和４年１１月５日）



花いっぱい運動
（令和４年６月１０・１１日、１１月１１・１２日）



日吉小子どもサミット
（令和４年７月１５日）



青色回転灯パトロール及びバス待ち児童見守り
（令和４年６月～令和５年３月）



「あいさつ運動」のぼり旗制作
（令和４年１２月）



「あいさつ運動」ポスター制作
（令和５年３月）

中学生と語る会事業

（１１月２６日開催）



作陶体験（７月２４日）



「わが町の自然」講演会



ワークショップ



天神窯での薪くべ体験



ピザ焼き体験



姫街道の説明



天狗塚の散策